年間授業計画　新様式

高等学校 令和４年度（１学年用） 教科　地歴公民科　　科目 地理総合

教　科：　地歴公民科　　科　目：　地理総合　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　E　組

教科担当者：

使用教科書：（　実教702 『地理総合』　　）

教科　地歴公民科　　の目標：

【知識及び技能】グローバル社会で自立することを目指し、世界の生活文化の多様性を理解し、情報を適切に調べまとめる力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】人間と自然環境との相互依存関係や，歴史的地域的特色などに着目し，多面的・多角的に考察する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に，課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さに気付く。

科目　地理総合　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察・構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付ける。	地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	国際理解と国際協力 第１章　生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に，自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで，そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し，その解決策を意欲的に考察・構想する姿勢が身に付いている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 様々な生活文化を基に，人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり，影響を与えたりして多様性をもつことや，地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 特色ある生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで，そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し，その解決策を意欲的に考察・構想しようとしている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	国際理解と国際協力 第２章　地球的課題と国際協力 【知識及び技能】 世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の各地で共通する積向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題などの地球的課題について，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球的諸課題の解決を目指す様々な取り組みへの興味関心を持つとともに，その諸課題を国際社会の一員として主体的にとらえ，意欲的に解決のあり方を考察・構想する姿勢が身に付いている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題，資源・エネルギー問題，人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に，地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 地球的課題について，地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，現状や要因，解決の方向性などを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに，自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察・構想しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2学期	地図や地理情報システムでとらえる現代世界 【知識及び技能】 日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に，地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて，位置や範囲，縮尺などに着目して，目的や用途，内容，適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し，表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の国家間や様々な地域間の結び付きについての課題意識を主体的に持ち，それらの課題解決のために多面的・多角的な考察を意欲的に行いながら追究しようとする至誠が身に付いている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に，方位や時差，本の位置と領域，国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について，位置や範囲などに着目して，主題を設定し，世界的視野から見た日本の位置，国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界や地域の諸事象について，地図や地理情報システムを用いて課題を主体的に追究し，多面的・多角的な考察を通して意欲的に課題を解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	持続可能な地域づくりと私たち 第１章　自然災害と防災 【知識及び技能】 様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について，その情報を収集し，読み取り，まとめる地理的技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について，自然及び社会的条件との関わり，持続可能な地域づくりなどに着目して，自然災害への備えなどを多面的・多角的に考察し，表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自然災害や防災・減災への興味関心を強く持つとともに，平常時または災害発生時における具体的な備えや取り組み，対応のあり方について積極的に考察・構想する姿勢が身に付いている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に，地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに，自然災害の規模や頻度，地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 防災について，地域の共通点や差異，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，自然災害への備えなどを多面的・多角的に考察し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然災害や防災・減災への興味関心を強く持つとともに，自分の住む地域で生じうる自然災害について主体的に追究し，対応のあり方について積極的に考察・構想しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3学期	持続可能な地域づくりと私たち 第２章　地域調査 【知識及び技能】 生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について，生活圏内や生活圏外との結び付き，地域の成り立ちや変容，持続可能な地域づくりなどに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察，構想し，表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の住む地域に関する諸情報を積極的に収集し，そこから見いだされた地域の地理的な課題について主体的に追究するとともに，その解決策を意欲的に考察・構想し，持続可能な地域社会のあり方を模索しようとする姿勢が身に付いている。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 生活圏の調査を基に，地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生活圏の地理的な課題について，生活圏内や生活圏外との結び付き，地域の成り立ちや変容などに着目して，主題を設定し，課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の住む地域に関する諸情報を積極的に収集し，そこから見いだされた地域の地理的な課題について主体的に追究するとともに，その解決策を意欲的に考察・構想し，持続可能な地域社会のあり方を模索しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 70